ユニット・リンク ヴァリアス
ユニット・リンク保険（終身移行型）［無配当］

新ユニット・リンク保険（有期型）
新ユニット・リンク保険（有期型）［無配当］

# 特別勘定の月次運用レポート
## 特別勘定の現況
## 2026 年 6 月度

＜目次＞


1. 特別勘定の種類 1 ページ
2. 運用環境の主な状況 2 ページ
3. 特別勘定の運用実績・状況 3-5 ページ
4. ［参考情報］投資信託の運用実績・状況 6-14 ページ
5. 当保険商品のリスク・諸費用・ご留意いただきたい事項 15-16 ページ



［引受保険会社］

アクサ生命保険株式会社

〒108-8020 東京都港区白金1-17-3
TEL 0120-933-399
平日 9:00～18:00 / 土 9:00～17:00
(日・祝日、12月30日～1月4日を除く)
www.axa.co.jp


■ 当資料は、特別勘定の運用実績等をご契約者さまへお知らせするための資料であり、生命保険契約の募集および投資信託の勧誘を目的としたものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご了承ください。
■ アクサ生命は、「運用環境の主な状況」などを信頼できると考えられる情報に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性については、これを保証するものではありません。また、「運用実績・状況」に係る内容はいかなるものも過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

（注）ユニット・リンク保険（終身移行型）および新ユニット・リンク保険（有期型）は現在販売しておりません。

本商品は、アクサ生命保険株式会社を引受保険会社とする生命保険商品です。預金ではありません。そのため、預金とは異なり元本保証はありません。本商品のリスクや費用については本資料巻末に記載していますので、必ずご確認ください。また、本商品のご検討にあたっては、「契約締結前交付書面(契約概要/注意喚起情報)」「ご契約のしおり・約款」「特別勘定のしおり」をご覧ください。

# 特別勘定の種類

| 特別勘定名 | 運用方針 |
|---|---|
| 安定成長バランス型（CS） | 主に内外の株式および公社債を主要投資対象とする投資信託に投資することによって、中長期的に安定した投資成果を目指します。<br>基本資産配分は、国内株式20%、海外株式20%、国内債券30%、海外債券30%とします。<br>なお、基本資産配分については、安定性と収益性を勘案し、継続的に見直し、調整を行います。（※）<br>原則として、為替ヘッジは行いません。 |
| 積極運用バランス型（CS） | 主に内外の株式および公社債を主要投資対象とする投資信託に投資することによって、中長期的に高い投資成果を目指します。<br>基本資産配分は、国内株式25%、海外株式35%、国内債券20%、海外債券20%とします。<br>なお、基本資産配分については、安定性と収益性を勘案し、継続的に見直し、調整を行います。（※）<br>原則として、為替ヘッジは行いません。 |
| 日本株式プラス型（CS） | 主に国内企業の株式を主要投資対象とする投資信託に投資することにより、積極的に高い投資成果を目指します。 |
| 海外株式プラス型（CS） | 主に海外の主要国ならびに新興成長国の株式を主要投資対象とする投資信託に投資することにより、積極的に高い投資成果を目指します。海外の主要国の株式に50%程度、新興成長国の株式に50%程度投資することを基本とします。ただし、市況動向等を勘案して、当該配分を変更する場合があります。原則として、為替ヘッジは行いません。 |
| 世界債券プラス型（CS） | 主に内外の高格付け債券ならびに高利回り債券を主要投資対象とする投資信託に投資することにより、積極的に高い投資成果を目指します。高格付け債券に50%程度、高利回り債券に50%程度投資することを基本とします。ただし、市況動向等を勘案して、当該配分を変更する場合があります。原則として、為替ヘッジは行いません。 |
| 金融市場型（CS） | 主に国内の公社債を主要投資対象とする投資信託に投資することによって、中長期的に安定した投資成果を目指します。 |

(※)各バランス型特別勘定の基本資産配分の策定にあたっては、イボットソン･アソシエイツの協力のもと、各資産のさまざまな組合せについて比較分析（最適化計算）を行い、最適な資産配分（基本資産配分）を算出しました。（2007年4月28日）

〈イボットソン･アソシエイツ〉
長期の投資収益率データから分散投資の効果を実証した先駆者の一人であるロジャー･イボットソン教授（イエール大学）が、1977年に米国シカゴに設立したアセットアロケーションを専門とするコンサルティング会社です。米国、日本をはじめ世界中の多くの金融機関や投資運用業界に、さまざまな資産クラスの期待収益率・リスク推計値や、モデル・ポートフォリオ、投資分析サービス、投資教育プログラムなどを提供しています。

◆各特別勘定では、運用スタイルの分散や運用会社の固有リスクの分散を図るため、基本的に当社が選定した複数の投資信託を組み合わせた運用を行います。ただし、特別勘定の資産規模や運用方針に適合する投資信託の選定の問題等から、単一の投資信託への投資による運用を行う場合があります。
◆なお、運用成果の向上を図るため、各特別勘定で投資する投資信託については、継続的にモニタリングを行い、適宜見直しを行っていきます。
◆特別勘定は追加されることがあります。
◆特別勘定の運用方針および運用対象は将来変更されることがあります。
◆「金融市場型（CS）」は株価、債券価格、為替等の変動の影響を受ける可能性が低いことを想定した特別勘定です。ただし、低金利環境下（マイナス金利を含む）では、「金融市場型（CS）」の積立金の増加が期待できないだけでなく、諸費用の控除等により積立金が減少することもありますのでご注意ください。

# 運用環境の主な状況

（2026年6月末現在）

## ■ 日本株式市場

TOPIX（東証株価指数）は前月末比+0.95%の3,994.76ポイントとなりました。月初は米雇用統計が市場予想を上回ったことを受け、米国の大型ハイテク関連株を中心に下落し、日本市場にも波及しました。その後は、米イラン紛争を巡る暫定合意を受けて原油価格が下落したことが好感され、上昇しました。月末にかけては、AI（人工知能）・半導体関連株を中心に下落したものの、月間では上昇となりました。

日本小型株式市場は下落しました。

## ■ 外国株式市場

米国株式市場では、NYダウ工業株30種が前月末比+2.52%の52,319.20ドルとなりました。月初は米雇用統計が市場予想を上回ったことを受けて米国金利が上昇し、大型ハイテク関連株を中心に下落しました。その後は、米イラン紛争を巡る暫定合意を受けて原油価格が下落したことが好感され、上昇しました。月末にかけては、AI・半導体関連株を中心に下落したものの、ヘルスケアや資本財・サービスセクターが底堅く推移したことから、月間では上昇となりました。

欧州株式市場では、独DAX指数が前月末-0.43%、仏CAC40指数が前月末比+2.70%となりました。独DAX指数は月初に米雇用統計が市場予想を上回ったことを受け、半導体関連株を中心に下落しました。その後は、米イラン紛争を巡る暫定合意を受けて原油価格が下落したことから上昇しました。月末にかけては、大手自動車メーカーが業績見通しを引下げたことが重荷となり下落し、月間では下落となりました。一方、仏CAC40指数は米イラン紛争を巡る暫定合意を受けて、中旬以降は金融などの景気敏感株を中心に上昇となりました。

新興国株式市場は下落しました。先進国リート市場は上昇しました。

## ■ 日本債券市場

10年国債の金利は上昇（価格は下落）し、月末には2.683%となりました（前月末2.667%）。6月の日銀金融政策決定会合では、市場の予想通り0.25%の利上げが実施され、政策金利は1.0%となりました。また、今後の追加利上げへの警戒感が継続したことから、金利は上昇基調で推移しました。

## ■ 外国債券市場

米国債券市場では、米10年国債の金利は上昇（価格は下落）し、月末には4.465%となりました（前月末4.436%）。月初は米雇用統計が市場予想を上回ったことを受けて金利が上昇しました。また、6月のFOMC（連邦公開市場委員会）では、年内利上げを見込む参加者が増えたことを受け、FRB（連邦準備制度理事会）による年内利上げ観測が高まりました。その後は、米イラン紛争を巡る暫定合意を受け金利が低下する場面もありましたが、月間では上昇しました。

米国ハイ・イールド債券市場は価格が上昇しました。

欧州債券市場では、独10年国債の金利は低下（価格は上昇）し、月末には2.860%となりました（前月末2.938%）。月初は米雇用統計が市場予想を上回り米金利が上昇したことに加え、米イラン情勢を巡る懸念を背景とした原油価格の上昇が、金利を押し上げました。その後は、米イラン紛争を巡る暫定合意を受け金利が低下に転じ、月間では低下しました。

## ■ 外国為替市場

米ドル/円相場は前月末比+3.00円の162.39円となりました。米国と日本の長期金利はともに上昇したものの、米国の長期金利の上昇幅が日本を上回り、日米の長期金利差が拡大したことや、FRBによる利上げ観測が高まったことがドル高の要因となり、ドルは対円で上昇しました。

ユーロ/円相場は前月末比-0.31円の185.35円となりました。欧州の長期金利が低下する一方、日本の長期金利が上昇したことから日欧の長期金利差が縮小し、ユーロは対円で下落しました。

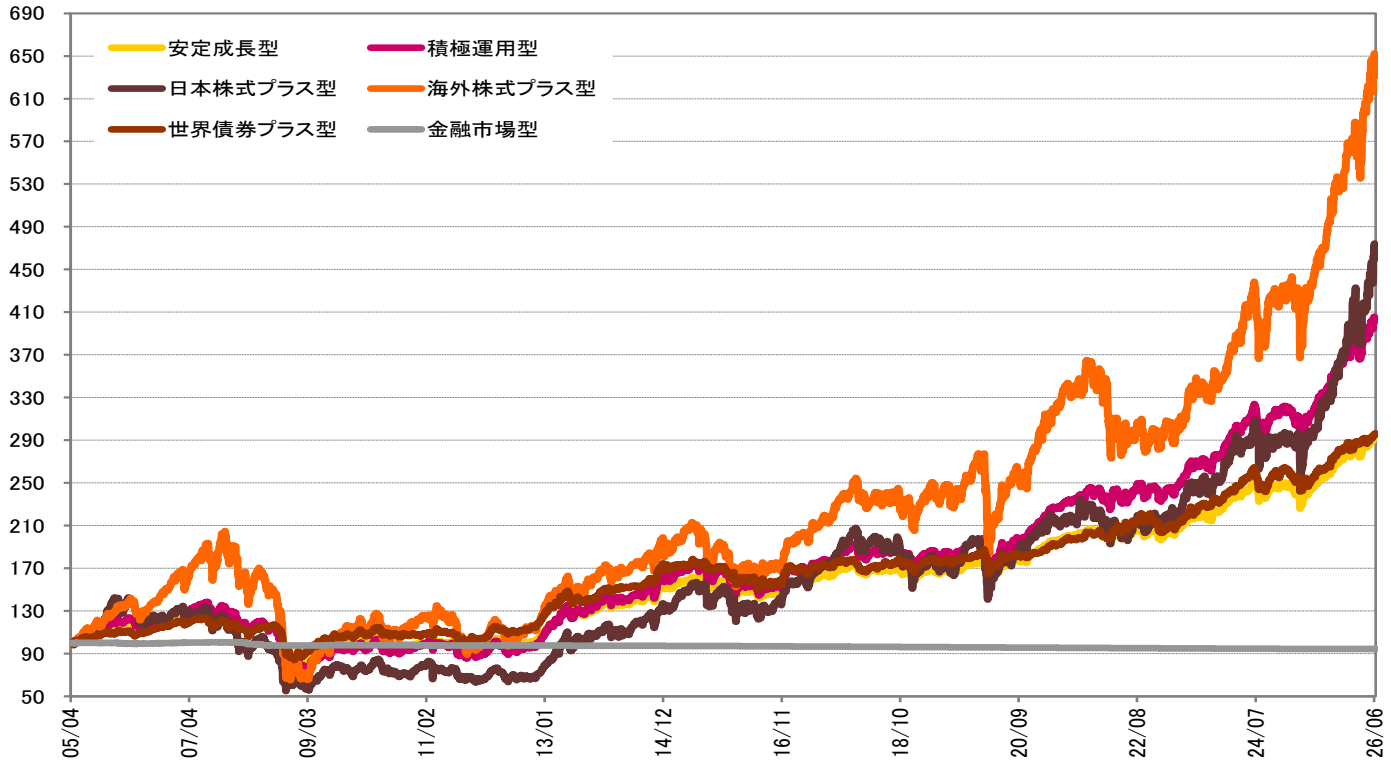
※上記の内容は過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

# 特別勘定の運用実績・状況

(2026年6月末現在)

## ■ 特別勘定のユニット・プライスの推移

※特別勘定のユニット・プライスは特別勘定で利用している投資信託の基準価額とは異なります。




| 特別勘定名 | 特別勘定設定日 | ユニット・プライス 2026年6月末 | 騰落率(%) | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 1ヶ月 | 3ヶ月 | 6ヶ月 | 1年 | 3年 | 設定来 |
| 安定成長バランス型(CS) | 2005/5/1 | 294.94 | 1.40 | 7.28 | 7.28 | 19.55 | 33.47 | 194.94 |
| 積極運用バランス型(CS) | 2005/5/1 | 403.61 | 1.48 | 10.23 | 9.87 | 26.59 | 49.87 | 303.61 |
| 日本株式プラス型(CS) | 2005/5/1 | 460.65 | 3.63 | 17.09 | 23.04 | 55.12 | 85.35 | 360.65 |
| 海外株式プラス型(CS) | 2005/5/1 | 632.37 | 0.20 | 17.31 | 16.42 | 41.94 | 87.88 | 532.37 |
| 世界債券プラス型(CS) | 2005/5/1 | 296.47 | 1.59 | 3.29 | 4.71 | 15.87 | 30.24 | 196.47 |
| 金融市場型(CS) | 2005/5/1 | 94.39 | 0.01 | 0.02 | △ 0.00 | △ 0.04 | △ 0.54 | △ 5.61 |

※ユニット・プライスとは、特別勘定の運用実績を把握するための便宜上の参考値で、特別勘定の運用を開始した時点を「100」として指数化したものです。
※騰落率は、当月末における、上記各期間のユニット・プライスの変動率を表しています。

# 特別勘定の運用実績・状況

(2026年6月末現在)

## ■ 特別勘定資産の内訳　千円単位

| | 安定成長バランス型（CS） | | 積極運用バランス型（CS） | | 日本株式プラス型（CS） | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 金額 | % | 金額 | % | 金額 | % |
| 現預金・その他 | 405,084 | 3.9 | 804,832 | 4.1 | 256,619 | 4.4 |
| その他有価証券 | 9,980,833 | 96.1 | 19,053,301 | 95.9 | 5,606,063 | 95.6 |
| 合計 | 10,385,917 | 100.0 | 19,858,133 | 100.0 | 5,862,682 | 100.0 |

| | 海外株式プラス型（CS） | | 世界債券プラス型（CS） | | 金融市場型（CS） | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 金額 | % | 金額 | % | 金額 | % |
| 現預金・その他 | 599,412 | 4.1 | 73,287 | 4.0 | 16,040 | 8.9 |
| その他有価証券 | 13,892,668 | 95.9 | 1,741,329 | 96.0 | 164,354 | 91.1 |
| 合計 | 14,492,080 | 100.0 | 1,814,615 | 100.0 | 180,394 | 100.0 |

※各特別勘定で利用している国内投資信託並びに外国投資信託は、いずれも「その他有価証券」の項目に含まれています。

# 特別勘定資産の内訳

(2026年6月末現在)

## 安定成長バランス型(CS)

| 銘柄 | | 投資比率(%) | 基本資産配分(%) |
|---|---|---|---|
| 現預金・その他 | | 3.9 | ― |
| 日本株式 | Selection Japan Equity Class I | 21.0 | 20.0 |
| 海外株式 | 外国株式インデックスファンドVA(適格機関投資家専用) | 20.0 | 20.0 |
| 日本債券 | ラッセル・インベストメント日本債券ファンドI-1(適格機関投資家限定) | 21.1 | 30.0 |
| 外国債券 | AXA Global Bond Class I | 28.6 | 30.0 |
| | Architas World ex-Japan Passive Bond Fund Class J | 5.3 | |

## 積極運用バランス型(CS)

| 銘柄 | | 投資比率(%) | 基本資産配分(%) |
|---|---|---|---|
| 現預金・その他 | | 4.1 | ― |
| 日本株式 | Selection Japan Equity Class I | 24.8 | 25.0 |
| 海外株式 | 外国株式インデックスファンドVA(適格機関投資家専用) | 34.5 | 35.0 |
| 日本債券 | ラッセル・インベストメント日本債券ファンドI-1(適格機関投資家限定) | 13.5 | 20.0 |
| 外国債券 | AXA Global Bond Class I | 23.1 | 20.0 |

## 日本株式プラス型(CS)

| 銘柄 | | 投資比率(%) | 基本資産配分(%) |
|---|---|---|---|
| 現預金・その他 | | 4.4 | ― |
| 日本株式 | Selection Japan Equity Class I | 95.6 | 100.0 |

## 海外株式プラス型(CS)

| 銘柄 | | 投資比率(%) | 基本資産配分(%) |
|---|---|---|---|
| 現預金・その他 | | 4.1 | ― |
| 海外主要国 | AXA GLOBAL EQUITY SELECTION Class I | 47.0 | 50.0 |
| 新興成長国 | エマージング株式インデックス・ファンド ＜適格機関投資家限定＞ | 48.9 | 50.0 |

## 世界債券プラス型(CS)

| 銘柄 | | 投資比率(%) | 基本資産配分(%) |
|---|---|---|---|
| 現預金・その他 | | 4.0 | ― |
| 高格付け債券 | AXA Global Bond Class I | 8.6 | 50.0 |
| | Architas World ex-Japan Passive Bond Fund Class J | 39.3 | |
| 高利回り債券 | フィデリティ・USハイ・イールド・ファンドVA(適格機関投資家専用) | 48.1 | 50.0 |

## 金融市場型(CS)

| 銘柄 | | 投資比率(%) | 基本資産配分(%) |
|---|---|---|---|
| 現預金・その他 | | 8.9 | ― |
| 高利回り債券 | フィデリティ・マネー・プールVA(適格機関投資家専用) | 91.1 | 100.0 |

※上記の内容は過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

［ご参考　主な投資対象とする投資信託の運用実績・状況］　(2026年6月末現在)

**セレクション・ジャパン・エクイティ**
アーキタス・マルチマネージャー・ヨーロッパ・リミテッド

**Selection Japan Equity Class I**
Architas Multi-Manager Europe Limited

## ■ 投資信託の特徴

積極的な分散投資のポートフォリオによる長期的な元本の増大を目的として運用を行います。純資産価額の3分の2以上を、日本を本拠地とする、または日本の規制市場で上場、値付けもしくは取引されている株式に投資することにより、その目的を達成することを目指します。（委託会社は本ファンドの運用について野村アセットマネジメントを副投資マネージャーに任命しました。）
*当投資信託は、円建アイルランド籍外国投資信託です。

## ■ 純資産総額

1,821.00 億円

## ■ 設定日

2021年4月21日

## ■ ベンチマーク

なし

## ■ 基準価額騰落率　表示桁数未満四捨五入

| % | 1ヶ月 | 3ヶ月 | 6ヶ月 | 1年 | 3年 | 設定来 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 基準価額 | 2.93 | 23.63 | 26.66 | 57.10 | 93.80 | 129.71 |

※基準価額の騰落率は、分配金（税引前）を再投資したものとして計算しています。また、実際の投資家利回りとは異なります。

## ■ 基準価額の推移

※設定日を10,000として指数化しています。（税引前分配金再投資）

## ■ 株式組入上位10銘柄

銘柄数:　87

| | 銘柄 | % |
|---|---|---|
| 1 | SUMITOMO MITSUI FINANCIAL GR | 5.90 |
| 2 | TOKYO ELECTRON LTD | 3.93 |
| 3 | SUMITOMO ELECTRIC INDUSTRIES | 3.47 |
| 4 | ADVANTEST CORP | 3.14 |
| 5 | TAIYO YUDEN CO LTD | 3.04 |
| 6 | SOMPO HOLDINGS INC | 2.87 |
| 7 | IBIDEN CO LTD | 2.85 |
| 8 | SONY GROUP CORP | 2.77 |
| 9 | MITSUI & CO LTD | 2.72 |
| 10 | TOYOTA MOTOR CORP | 2.58 |

## ■ 株式組入上位5業種（%）

| | | |
|---|---|---|
| 1 | 資本財・サービス | 23.26 |
| 2 | 情報技術 | 21.28 |
| 3 | 一般消費財・サービス | 20.07 |
| 4 | 金融 | 18.69 |
| 5 | 素材 | 5.75 |

※上記の内容は、ご参考情報として運用会社からの情報を提供するものであり、アクサ生命は内容について一切の責任を負いません。
※資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
※特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分（現金等）を加えて構成されています。
後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。

［ご参考　投資信託の運用実績・状況］　(2026年6月末現在)

# 外国株式インデックスファンドVA（適格機関投資家専用）

大和アセットマネジメント株式会社

## ■ 投資信託の特徴

マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として日本を除く先進国の株式に投資を行い、ベンチマークに連動する投資成果をめざして運用を行います。
実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。

## ■ 純資産総額

1,061.49 億円

## ■ 設定日

2024年2月15日

## ■ ベンチマーク

MSCIコクサイ・インデックス（税引後配当込み、円ベース）

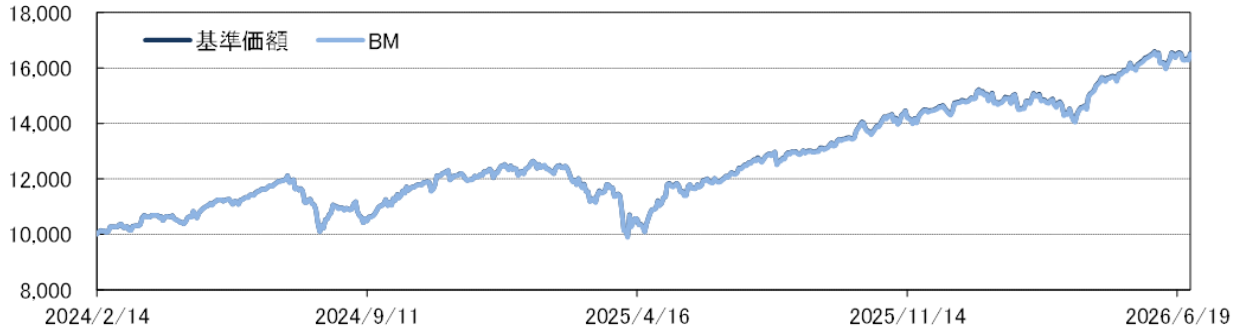
## ■ 基準価額・ベンチマーク(BM)騰落率　表示桁数未満四捨五入

| % | 1ヶ月 | 3ヶ月 | 6ヶ月 | 1年 | 3年 | 設定来 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 基準価額 | 0.65 | 17.48 | 11.82 | 35.21 | --- | 65.40 |
| BM | 0.67 | 17.48 | 11.79 | 35.09 | --- | 65.06 |
| 差異 | △0.02 | 0.00 | 0.03 | 0.12 | --- | 0.34 |

※「基準価額騰落率」の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間とし、当該ファンドの「分配金再投資基準価額」を用いた騰落率を表しています。
※基準価額は信託報酬控除後のものです。
※MSCIコクサイ・インデックス（税引後配当込み）とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。MSCIコクサイ・インデックス（税引後配当込み、円ベース）は、MSCIコクサイ・インデックス（税引後配当込み、米ドルベース）をもとに、大和アセットマネジメントが計算したものです。また、MSCIコクサイ・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

## ■ 基準価額の推移

※設定日の前日を10,000として指数化しています。（税引前分配金再投資）
※当ファンドはベンチマークを上回る運用成果を保証するものではありません。
※グラフ上のベンチマークは、グラフの起点時の基準価額に基づき指数化しています。




## ■ 株式組入上位10銘柄

銘柄数：　1,116

| | 銘柄名 | 国・地域名 | 業種 | % |
|---|---|---|---|---|
| 1 | NVIDIA CORP | アメリカ | 情報技術 | 5.25% |
| 2 | APPLE INC | アメリカ | 情報技術 | 4.83% |
| 3 | MICROSOFT CORP | アメリカ | 情報技術 | 3.03% |
| 4 | AMAZON COM INC | アメリカ | 一般消費財・サービス | 2.71% |
| 5 | ALPHABET INC CLASS A | アメリカ | コミュニケーション・サービス | 2.40% |
| 6 | BROADCOM INC | アメリカ | 情報技術 | 1.96% |
| 7 | ALPHABET INC CLASS C | アメリカ | コミュニケーション・サービス | 1.90% |
| 8 | MICRON TECHNOLOGY INC | アメリカ | 情報技術 | 1.51% |
| 9 | META PLATFORMS INC CLASS A | アメリカ | コミュニケーション・サービス | 1.44% |
| 10 | TESLA INC | アメリカ | 一般消費財・サービス | 1.35% |

## ■ 株式組入上位5ヶ国 (%)

| | | |
|---|---|---|
| 1 | アメリカ | 76.92% |
| 2 | イギリス | 3.66% |
| 3 | カナダ | 3.54% |
| 4 | ドイツ | 2.92% |
| 5 | フランス | 2.37% |

## ■ 株式組入上位5業種 (%)

| | | |
|---|---|---|
| 1 | 情報技術 | 29.35% |
| 2 | 金融 | 15.15% |
| 3 | 資本財・サービス | 10.42% |
| 4 | ヘルスケア | 9.12% |
| 5 | 一般消費財・サービス | 8.35% |

※ 比率は純資産総額に対するものです。
※ 外国株式が含まれる場合、外国株式の国・地域名については、原則としてMSCI Inc.が提供するリスク所在国・地域に基づいて表示しています。
※ 業種名は、原則としてS&PとMSCI Inc.が共同で作成した世界産業分類基準（GICS）によるものです。

※上記の内容は、ご参考情報として運用会社からの情報を提供するものであり、アクサ生命は内容について一切の責任を負いません。
※資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
※特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分（現金等）を加えて構成されています。
後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。

［ご参考　主な投資対象とする投資信託の運用実績・状況］　(2026年6月末現在)

## アクサ・グローバル・エクイティ・セレクション　AXA Global Equity Selection Class I

アーキタス・マルチマネージャー・ヨーロッパ・リミテッド　Architas Multi-Manager Europe Limited

### ■ 投資信託の特徴

純資産価額の3分の2以上を、主に先進国（日本除く）の規制された市場に籍を置く株式、上場株式、取引価格がある株式、または流通株式に投資することにより、分散を図ったポートフォリオのアクティブ運用による長期的な元本の増大を目的として運用を行います。中長期でインデックスを超える運用成果を追求します。なお、原則として純資産価額の40%程度については同インデックスの動きに連動した投資成果をめざして運用を行います。（委託会社は本ファンドの運用についてJPモルガンアセットマネジメント(UK)リミテッドおよびDWSインターナショナルGmbHを副投資マネージャーに任命しました。）

### ■ 純資産総額

5,037.00 億円

### ■ 設定日

2024年8月7日

### ■ ベンチマーク

MSCIコクサイ・インデックス（円ベース・税引後配当込み）

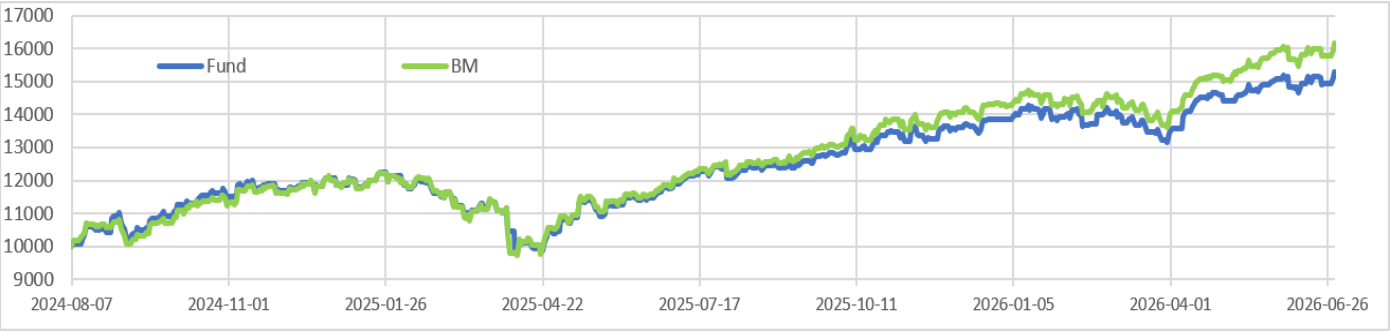
### ■ 基準価額・ベンチマーク(BM)騰落率　表示桁数未満四捨五入

| % | 1ヶ月 | 3ヶ月 | 6ヶ月 | 1年 | 3年 | 設定来 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 基準価額 | 1.48 | 13.86 | 10.32 | 29.97 | - | 52.98 |
| BM | 1.34 | 16.19 | 12.95 | 36.02 | - | 61.53 |
| 差異 | 0.15 | △2.32 | △2.62 | △6.05 | - | △8.55 |

※基準価額の騰落率は、分配金（税引前）を再投資したものとして計算しています。また、実際の投資家利回りとは異なります。
※MSCIコクサイ・インデックスに関する著作権、知的所有権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

### ■ 基準価額の推移

※設定日を10,000として指数化しています。(税引前分配金再投資)




### ■ 株式組入上位10銘柄

銘柄数：1,121

| | 銘柄 | 国名 | 業種 | % |
|---|---|---|---|---|
| 1 | NVIDIA CORP | アメリカ | 情報技術 | 6.64 |
| 2 | APPLE INC | アメリカ | 情報技術 | 4.41 |
| 3 | AMAZON.COM INC | アメリカ | 一般消費財・サービス | 3.94 |
| 4 | MICROSOFT CORP | アメリカ | 情報技術 | 3.94 |
| 5 | ALPHABET INC-CL A | アメリカ | コミュニケーション・サービス | 3.68 |
| 6 | ASML HOLDING NV | オランダ | 情報技術 | 2.31 |
| 7 | MASTERCARD INC - A | アメリカ | 金融 | 2.27 |
| 8 | BROADCOM INC | アメリカ | 情報技術 | 1.98 |
| 9 | JOHNSON & JOHNSON | アメリカ | ヘルスケア | 1.94 |
| 10 | SAFRAN SA | フランス | 資本財・サービス | 1.59 |

### ■ 株式組入上位5カ国(%)

| | | |
|---|---|---|
| 1 | アメリカ | 74.16 |
| 2 | イギリス | 4.19 |
| 3 | オランダ | 3.00 |
| 4 | フランス | 2.91 |
| 5 | ドイツ | 2.34 |

### ■ 株式組入上位5業種(%)

| | | |
|---|---|---|
| 1 | 情報技術 | 32.39 |
| 2 | 金融 | 15.93 |
| 3 | 一般消費財・サービス | 12.05 |
| 4 | 資本財・サービス | 9.66 |
| 5 | ヘルスケア | 9.50 |

※「株式組入上位10銘柄」「株式組入上位5ヵ国」「株式組入上位5業種」はマスターファンドの状況で、純資産総額を100%として計算したものです。

※上記の内容は、ご参考情報として運用会社からの情報を提供するものであり、アクサ生命は内容について一切の責任を負いません。
※資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
※特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分（現金等）を加えて構成されています。
後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。

［ご参考　主な投資対象とする投資信託の運用実績・状況］　(2026年6月末現在)

## エマージング株式インデックス・ファンド　＜適格機関投資家限定＞

ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社

### ■ 投資信託の特徴

マザーファンド受益証券への投資を通じて、中長期的にベンチマークの動きに連動した投資成果の獲得をめざして運用を行うことを基本とします。外貨建資産については、ベンチマークとの連動性を維持することを目的とする場合を除き、原則として為替ヘッジを行いません。

### ■ 純資産総額

392 億円

### ■ 設定日

2009年11月30日

### ■ ベンチマーク

MSCIエマージング・マーケット・インデックス

（課税後配当込み・円換算ベース）

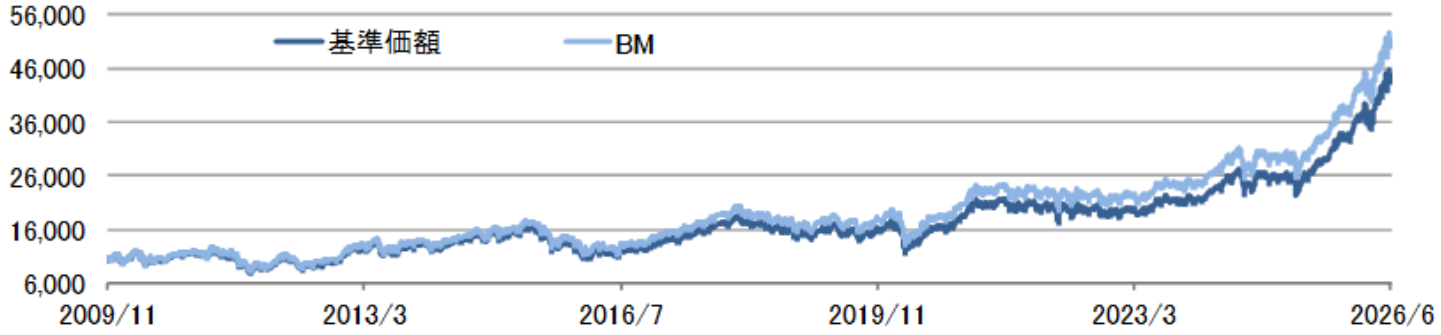
### ■ 基準価額・ベンチマーク(BM)騰落率　表示桁数未満四捨五入

| % | 1ヶ月 | 3ヶ月 | 6ヶ月 | 1年 | 3年 | 設定来 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 基準価額 | 0.86 | 23.45 | 27.23 | 58.54 | 104.68 | 335.02 |
| BM | 0.93 | 23.40 | 27.40 | 58.80 | 107.05 | 400.69 |
| 差異 | △0.07 | 0.05 | △0.16 | △0.26 | △2.37 | △65.67 |

※基準価額の騰落率は、分配金（税引前）を再投資したものとして計算しています。また、実際の投資家利回りとは異なります。
※MSCIエマージング・マーケット・インデックスに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

### ■ 基準価額の推移

※設定日を10,000として指数化しています。（税引前分配金再投資）
※ベンチマークは課税後配当込み・円換算ベースを用いて設定日を10,000として指数化しています。




### ■ 株式組入上位10銘柄

銘柄数: 1142

| | 銘柄 | 国名 | 業種 | % |
|---|---|---|---|---|
| 1 | TAIWAN SEMICONDUCTOR MANUFACTURING CO LTD | 台湾 | 情報技術 | 14.56 |
| 2 | SAMSUNG ELECTRONICS CO LTD | 韓国 | 情報技術 | 7.75 |
| 3 | SK HYNIX INC | 韓国 | 情報技術 | 7.45 |
| 4 | TENCENT HOLDINGS LTD | 中国 | コミュニケーション・サービス | 2.63 |
| 5 | ALIBABA GROUP HOLDINGS LTD | 中国 | 一般消費財・サービス | 1.58 |
| 6 | MEDIATEK INC | 台湾 | 情報技術 | 1.42 |
| 7 | DELTA ELECTRONICS INC | 台湾 | 情報技術 | 0.93 |
| 8 | SAMSUNG ELECTRONICS PFD | 韓国 | 情報技術 | 0.87 |
| 9 | SK SQUARE CO LTD | 韓国 | 資本財・サービス | 0.78 |
| 10 | HDFC BANK LIMITED | インド | 金融 | 0.77 |

### ■ 株式組入上位5カ国(%)

| | | |
|---|---|---|
| 1 | 台湾 | 26.15 |
| 2 | 韓国 | 22.98 |
| 3 | 中国 | 18.69 |
| 4 | インド | 11.00 |
| 5 | ブラジル | 3.74 |

### ■ 株式組入上位5業種(%)

| | | |
|---|---|---|
| 1 | 情報技術 | 43.38 |
| 2 | 金融 | 18.16 |
| 3 | 一般消費財・サービス | 7.13 |
| 4 | 資本財・サービス | 6.62 |
| 5 | コミュニケーション・サービス | 5.84 |

※「株式組入上位10銘柄」「株式組入上位5ヵ国」「株式組入上位5業種」はマザーファンドの状況で、純資産総額を100%として計算したものです。

※上記の内容は、ご参考情報として運用会社からの情報を提供するものであり、アクサ生命は内容について一切の責任を負いません。
※資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
※特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分（現金等）を加えて構成されています。
後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。

［ご参考　投資信託の運用実績・状況］　(2026年6月末現在)

# ラッセル・インベストメント日本債券ファンドI－1（適格機関投資家限定）

ラッセル・インベストメント株式会社

## ■ 投資信託の特徴

日本の市場において取引されている公社債を主要投資対象とし、安定的にベンチマーク（NOMURA-BPI総合指数）を上回ることを目標として運用を行います。
複数の運用会社を採用することにより、金利予測、満期構成、債券種別選択、個別銘柄選択といった債券運用における超過収益の源泉や運用プロセスの分散を図り、リスクをコントロールしながら超過収益の獲得を目指します。
ファミリー・ファンド方式で運用を行い、「ラッセル・インベストメント日本債券マザーファンド」を主要投資対象とします。

## ■ 純資産総額

85.28 億円

## ■ 設定日

2003年11月18日

## ■ ベンチマーク

NOMURA-BPI 総合指数

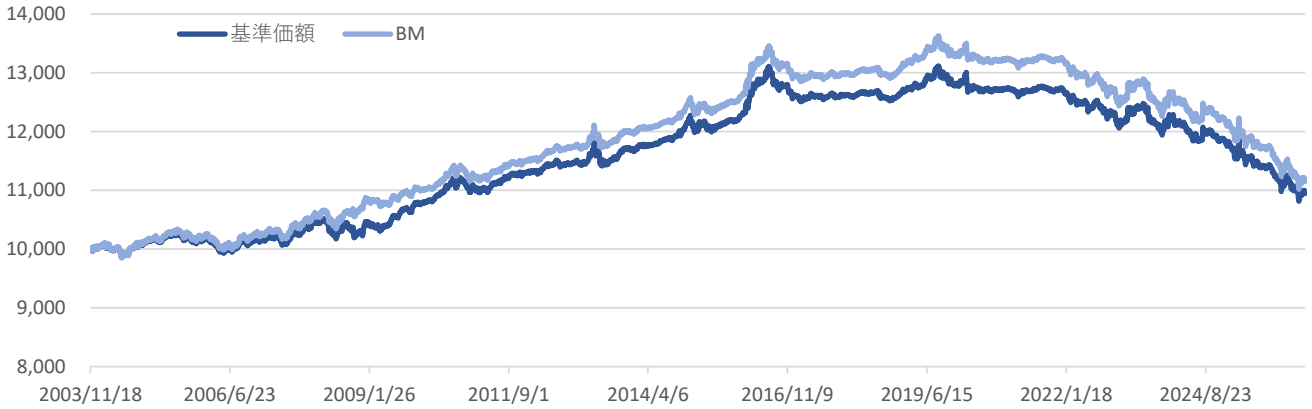
## ■ 基準価額・ベンチマーク(BM)騰落率　表示桁数未満四捨五入

| % | 1ヶ月 | 3ヶ月 | 6ヶ月 | 1年 | 3年 | 設定来 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 基準価額 | 0.08 | △ 0.87 | △ 2.26 | △ 5.36 | △ 11.99 | 9.42 |
| BM | 0.01 | △ 1.15 | △ 2.80 | △ 6.29 | △ 13.20 | 11.51 |
| 差異 | 0.07 | 0.28 | 0.54 | 0.93 | 1.21 | △ 2.09 |

※騰落状況および基準価額は分配金を税引前で再投資したものとして計算しています。

## ■ 基準価額の推移

※設定日を10,000として指数化しています。（税引前分配金再投資）




## ■種別構成比（%）

| | |
|---|---|
| 国債 | 58.8 |
| 地方債 | 1.7 |
| 政保債 | 0.0 |
| 金融債 | 0.0 |
| 事業債 | 36.1 |
| 円建外債 | 3.4 |
| MBS | 0.0 |
| ABS | 0.0 |
| その他 | 0.0 |

## ■外部委託運用会社

| 運用会社 | 運用スタイル | 目標配分(%) |
|---|---|---|
| アセットマネジメントOne | 広範囲型 | 50 |
| PGIMジャパン | クレジット重視型 | 50 |

※比率はマザーファンドにおける対純資産総額比率をいいます。

※上記の内容は、ご参考情報として運用会社からの情報を提供するものであり、アクサ生命は内容について一切の責任を負いません。
※資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
※特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分（現金等）を加えて構成されています。
　後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。

［ご参考　投資信託の運用実績・状況］　(2026年6月末現在)

# アーキタス・ワールド・エックス・ジャパン・パッシブ・ボンド・ファンド

**Architas World ex-Japan Passive Bond Fund Class J**

アーキタス・マルチマネージャー・ヨーロッパ・リミテッド　Architas Multi-Manager Europe Limited

## ■ 投資信託の特徴

元本およびインカム収入の両方を考慮したトータルリターン（報酬および費用控除前）を投資家に提供することを目指します。ベンチマークに連動した運用成果を目指します。純資産価額の100%を上限として、日本を除く世界各国が発行する国債（政府機関債・地方債含む）に投資します。（委託会社は本ファンドの運用についてDWS Groupを副投資マネージャーに任命しました。）
*当投資信託は、円建アイルランド籍外国投資信託です。

## ■ 純資産総額

723.00 億円

## ■ 設定日

2021年3月24日

## ■ ベンチマーク

FTSE世界国債インデックス（除く日本）

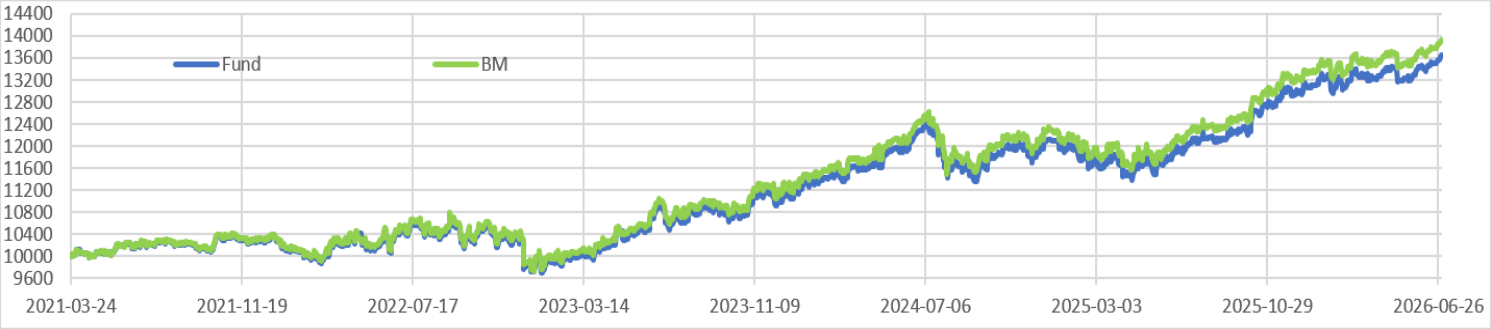
## ■ 基準価額・ベンチマーク(BM)騰落率　表示桁数未満四捨五入

| % | 1ヶ月 | 3ヶ月 | 6ヶ月 | 1年 | 3年 | 設定来 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 基準価額 | 1.53 | 3.23 | 4.03 | 14.30 | 25.27 | 36.43 |
| BM | 1.46 | 3.30 | 4.16 | 14.69 | 26.57 | 39.17 |
| 差異 | 0.07 | △0.07 | △0.13 | △0.39 | △1.30 | △2.74 |

※基準価額の騰落率は、分配金（税引前）を再投資したものとして計算しています。また、実際の投資家利回りとは異なります。
※FTSE世界国債インデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

## ■ 基準価額の推移

※設定日を10,000として指数化しています。(税引前分配金再投資)




## ■ 債券組入上位6銘柄

銘柄数:　990

| | 銘柄 | 国名 | % |
|---|---|---|---|
| 1 | US TREASURY N/B - 2.75%　15 Aug 2032 | アメリカ | 0.56 |
| 2 | US TREASURY N/B - 4.625%　15 Jun 2027 | アメリカ | 0.45 |
| 3 | US TREASURY N/B - 1.25%　15 Aug 2031 | アメリカ | 0.45 |
| 4 | US TREASURY N/B - 1.375%　15 Nov 2031 | アメリカ | 0.45 |
| 5 | US TREASURY N/B - 1.875%　15 Feb 2032 | アメリカ | 0.45 |
| 6 | US TREASURY N/B - 4.25%　15 May 2035 | アメリカ | 0.44 |

## ■ 債券組入上位5カ国(%)

| | | |
|---|---|---|
| 1 | アメリカ | 44.44 |
| 2 | 中国 | 12.65 |
| 3 | フランス | 6.93 |
| 4 | イタリア | 6.48 |
| 5 | イギリス | 5.59 |

## ■ 格付別構成比率(%)

| | |
|---|---|
| AAA | 7.51 |
| AA | 52.93 |
| A | 3.37 |
| BBB | 4.62 |
| BB or Lower | 0.00 |
| Not Rated | 30.59 |

※上記の内容は、ご参考情報として運用会社からの情報を提供するものであり、アクサ生命は内容について一切の責任を負いません。
※資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
※特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分（現金等）を加えて構成されています。
後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。

［ご参考　投資信託の運用実績・状況］　(2026年6月末現在)

**アクサ・グローバル・ボンド**
アーキタス・マルチマネージャー・ヨーロッパ・リミテッド

**AXA Global Bond Class I**
Architas Multi-Manager Europe Limited

## ■ 投資信託の特徴

主として世界各国の投資適格債（BBB格以上）に分散投資を行うことで、キャピタルリターンとインカムリターンの両面から、中長期的なトータルリターンの提供を目指した運用を行います。（委託会社は本ファンドの運用についてコルチェスター・グローバル・インベスターズ・リミテッドを副投資マネージャーに任命しました。）
*当投資信託は、円建アイルランド籍外国投資信託です。

## ■ 純資産総額

700.00 億円

## ■ 設定日

2026年2月9日

## ■ ベンチマーク

FTSE世界国債インデックス（円ベース）

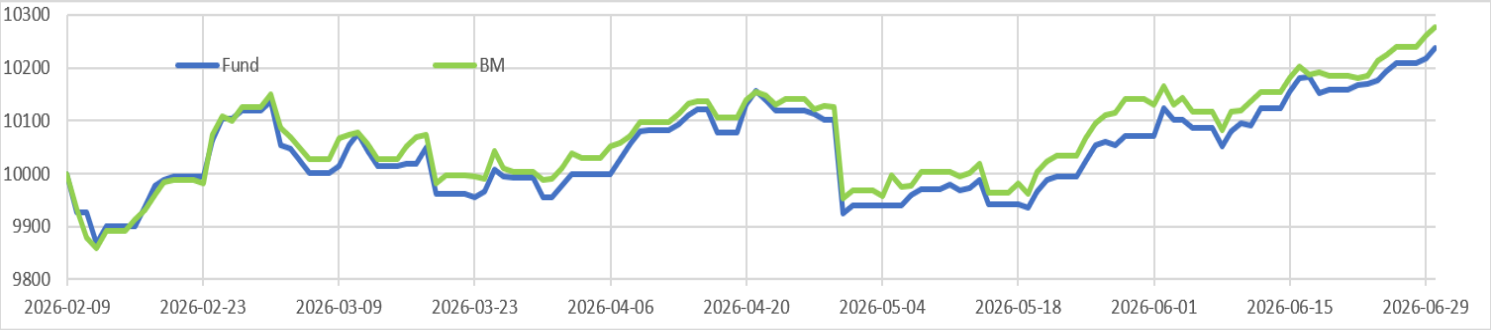
## ■ 基準価額・ベンチマーク(BM)騰落率　表示桁数未満四捨五入

| % | 1ヶ月 | 3ヶ月 | 6ヶ月 | 1年 | 3年 | 設定来 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 基準価額 | 1.65 | 2.84 | - | - | - | 2.38 |
| BM | 1.33 | 2.86 | - | - | - | 2.76 |
| 差異 | 0.32 | △0.02 | - | - | - | △0.38 |

※基準価額の騰落率は、分配金（税引前）を再投資したものとして計算しています。また、実際の投資家利回りとは異なります。
※FTSE世界国債インデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

## ■ 基準価額の推移

※設定日を10,000として指数化しています。(税引前分配金再投資)




## ■ 債券組入上位6銘柄

銘柄数:　89

| | 銘柄 | 国名 | % |
|---|---|---|---|
| 1 | US TREASURY N/B - 4%　29 Feb 2028 | アメリカ | 3.85 |
| 2 | US TREASURY N/B - 4.875%　31 Oct 2028 | アメリカ | 3.67 |
| 3 | POLAND GOVERNMENT BOND - 2%　25 Aug 2036 | ポーランド | 3.47 |
| 4 | US TREASURY N/B - 4.125%　31 Jul 2031 | アメリカ | 3.14 |
| 5 | MEX BONOS DESARR FIX RT - 7.75%　23 Nov 2034 | メキシコ | 2.69 |
| 6 | US TREASURY N/B - 4.125%　28 Feb 2027 | アメリカ | 2.68 |

## ■ 債券組入上位5カ国(%)

| | | |
|---|---|---|
| 1 | アメリカ | 23.39 |
| 2 | メキシコ | 11.68 |
| 3 | ニュージーランド | 9.53 |
| 4 | オーストラリア | 7.45 |
| 5 | インドネシア | 6.69 |

## ■ 格付別構成比率(%)

| | |
|---|---|
| AAA | 24.52 |
| AA | 27.18 |
| A | 6.11 |
| BBB | 14.10 |
| BB or Lower | 0.00 |
| Not Rated | 25.25 |

※上記の内容は、ご参考情報として運用会社からの情報を提供するものであり、アクサ生命は内容について一切の責任を負いません。
※資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
※特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分（現金等）を加えて構成されています。
後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。

［ご参考　投資信託の運用実績・状況］　(2026年6月末現在)

# フィデリティ・USハイ・イールド・ファンドVA（適格機関投資家専用）

フィデリティ投信株式会社

## ■ 投資信託の特徴

・米ドル建て高利回り事業債(ハイ・イールド債券)を中心に分散投資を行ない、高水準の利息等の収入を確保するとともに、値上り益の追求を目指します。格付けに関しては、主に、Ba格(ムーディーズ社)以下またはBB格(S&P社)以下の格付けの事業債に投資を行ない、一部、格付けを持たない債券や、米国以外の国の 発行体の高利回り事業債を組入れることもあります。
・高利回り事業債の組入率は原則として高位を維持します。原則として外貨建資産の為替ヘッジは行ないません。
・ICE BofA USハイ・イールド・コンストレインド・インデックス（円換算）をベンチマークとします。
・ファンドは「フィデリティ・USハイ・イールド・マザーファンド」を通じて投資を行ないます。

## ■ 純資産総額

9.7 億円

## ■ 設定日

2006年3月30日

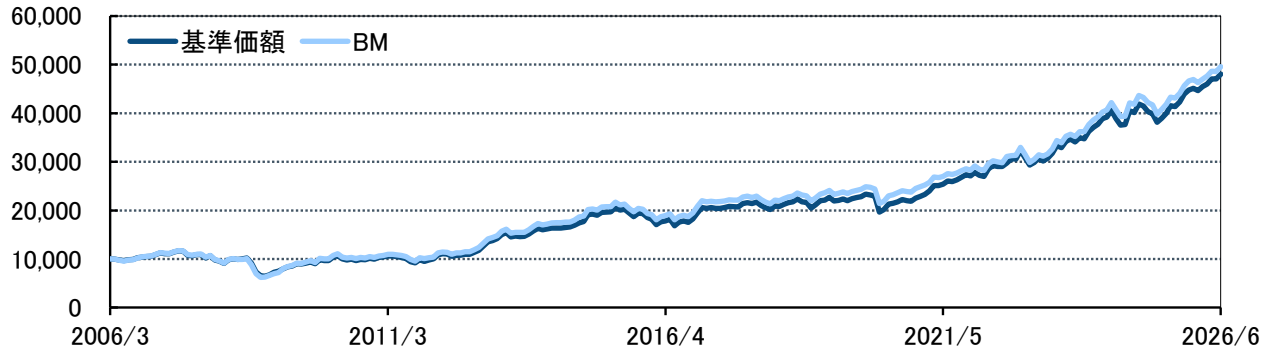
## ■ ベンチマーク

ICE BofA USハイ・イールド・コンストレインド・インデックス（円換算）

## ■ 基準価額・ベンチマーク（BM）騰落率　表示桁数未満四捨五入

| % | 1ヶ月 | 3ヶ月 | 6ヶ月 | 1年 | 3年 | 設定来 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 基準価額 | 2.05 | 4.46 | 6.45 | 20.18 | 44.15 | 380.52 |
| BM | 2.15 | 4.06 | 5.71 | 18.58 | 44.22 | 396.07 |
| 差異 | △0.10 | 0.40 | 0.74 | 1.60 | △0.07 | △15.55 |

## ■ 基準価額の推移




※基準価額の騰落率は、収益分配金を再投資することにより算出された騰落率です。
※基準価額は、ファンド設定時に10,000円でスタートしてからの収益分配金を再投資した実績評価額です。
　ただし、購入時手数料および収益分配金にかかる税金は考慮していません。ベンチマークはファンド設定日前日を10,000円として計算しています。
※基準価額は運用管理費用控除後のものです。
※当該実績は過去のものであり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

(2026年5月末現在)

## ■ 組入上位10銘柄

組入銘柄数:　714

| | 銘柄 | 業種 | 格付 | (%) |
|---|---|---|---|---|
| 1 | エコスター | 通信 | B | 1.82 |
| 2 | アクリシュア・ホールディングス | 金融サービス | - | 0.83 |
| 3 | ビストラ・コープ | 公益 | - | 0.68 |
| 4 | ネプチューン・ビッドコ　US | サービス | - | 0.65 |
| 5 | トランスダイム | 資本財 | B | 0.55 |
| 6 | パシフィック・ガス＆エレクトリック | 公益 | BBB/Baa | 0.53 |
| 7 | ディッシュDBS | メディア | CCC/Caa | 0.52 |
| 8 | アルティス・フランス | 通信 | CCC/Caa | 0.51 |
| 9 | オパール・ビッドコ | ヘルスケア | B | 0.49 |
| 10 | ウーバー・テクノロジーズ | サービス | BBB/Baa | 0.49 |

※格付け別比率は対投資債券比率、組入上位5業種比率は対投資資産比率をいいます。
※格付は、S&P社もしくはムーディーズ社による格付を採用し、S&P社の格付を優先して採用しています。(「プラス／マイナス」の符号は省略しています。)なお、両社による格付のない場合は、「格付なし」に分類しています。
※業種は原則としてICE BofAの分類によります。一部弊社の判断で分類しているものが含まれます。

## ■ 債券格付別組入状況

| | 格付け | (%) |
|---|---|---|
| 1 | A以上 | 0.37 |
| 2 | BBB/Baa | 10.81 |
| 3 | BB/Ba | 45.87 |
| 4 | B | 32.85 |
| 5 | CCC/Caa | 8.63 |
| 6 | CC/Ca以下 | 0.47 |
| 7 | 格付なし | 1.00 |

## ■ 組入上位5業種

| | 業種 | (%) |
|---|---|---|
| 1 | エネルギー | 11.88 |
| 2 | 通信 | 9.85 |
| 3 | 金融サービス | 8.51 |
| 4 | サービス | 8.07 |
| 5 | 素材 | 7.72 |

※上記の内容は、ご参考情報として運用会社からの情報を提供するものであり、アクサ生命は内容について一切の責任を負いません。
※資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
※特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分（現金等）を加えて構成されています。
　後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。

［ご参考　主な投資対象とする投資信託の運用実績・状況］　（2026年6月末現在）

## フィデリティ・マネー・プールVA（適格機関投資家専用）

フィデリティ投信株式会社

### ■ 投資信託の特徴

本邦通貨表示の公社債等を主要な投資対象とし、安定した収益の確保を図ることを目的として運用を行ないます。

### ■ 純資産総額

57 億円

### ■ 設定日

2002年9月20日

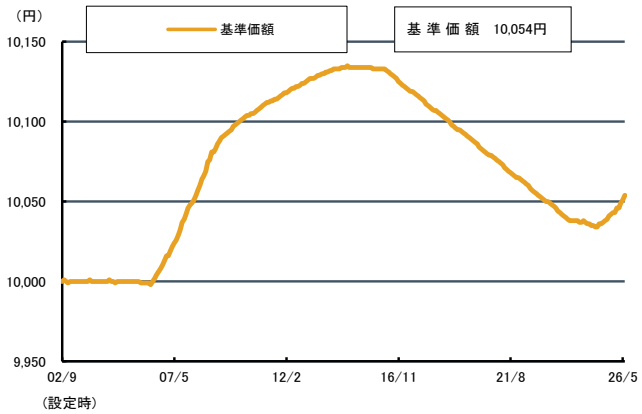
### ■ 基準価額騰落率　表示桁数未満四捨五入

| % | 1ヶ月 | 3ヶ月 | 6ヶ月 | 1年 | 3年 | 設定来 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 基準価額 | 0.03 | 0.08 | 0.11 | 0.18 | 0.07 | 0.54 |

### ■ ベンチマーク

なし

### ■ 基準価額の推移




※基準価額の騰落率は、収益分配金を再投資することにより算出された騰落率です。
※基準価額は、ファンド設定時に10,000円でスタートしてからの収益分配金を再投資した実績評価額です。
　ただし、購入時手数料および収益分配金にかかる税金は考慮していません。
※当ファンドは、ベンチマークを設定しておりません。※基準価額は運用管理費用控除後のものです。
※当該実績は過去のものであり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

（2026年05月29日現在）

### ■ 組入上位10銘柄*

| | 銘柄 | 種類 | 格付 | % |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 1366国庫短期証券 2026/06/08 | 債券 | A | 28.0 |
| 2 | 1372国庫短期証券 2026/07/06 | 債券 | A | 22.8 |
| 3 | 1381国庫短期証券 2026/08/17 | 債券 | A | 21.4 |
| 4 | 1368国庫短期証券 2026/06/15 | 債券 | A | 12.5 |
| 5 | 1374国庫短期証券 2026/07/13 | 債券 | A | 7.0 |
| 6 | - | - | - | - |
| 7 | - | - | - | - |
| 8 | - | - | - | - |
| 9 | - | - | - | - |
| 10 | - | - | - | - |

（組入銘柄数　：　5）　　上位10銘柄合計 91.7%

### ■ ポートフォリオの状況*

資産別組入状況（%）

| | |
|---|---|
| 債券 | 91.7 |
| CP | - |
| CD | - |
| 現金・その他 | 8.3 |

組入資産格付内訳（%）

| | | |
|---|---|---|
| 長期債券格付 | AAA/Aaa | - |
| | AA/Aa | - |
| | A | 91.7 |
| 短期債券格付 | A-1/P-1 | - |
| | A-2/P-2 | - |
| 現金・その他 | | 8.3 |

| | |
|---|---|
| 平均残存日数 | 36.89日 |
| 平均残存年数 | 0.10年 |

＊マザーファンドベース、対純資産総額比率
※格付は、S&P社もしくはムーディーズ社による格付を採用し、S&P社の格付を優先して採用しています。（「プラス／マイナス」の符号は省略しています。）なお、両社による格付のない場合は、「格付なし」に分類しています。各々のグラフ、表にある比率は、それぞれの項目を四捨五入して表示しています。

当資料は、情報提供を目的としたものであり、ファンドの推奨（有価証券の勧誘）を目的としたものではありません。本資料に記載の内容は将来の運用結果等を保証もしくは示唆するものではありません。当資料は、信頼できる情報をもとにフィデリティ投信が作成しておりますが、厳密な意味での正確性・完全性について当社が責任を負うものではありません。上記情報は、作成時点のものであり、市場の環境やその他の状況によって予告なく変更することがあります。

※上記の内容は、ご参考情報として運用会社からの情報を提供するものであり、アクサ生命は内容について一切の責任を負いません。

# ご留意いただきたい事項

■当資料の目的
当資料は、アクサ生命がユニット･リンク保険（終身移行型）「ユニット・リンク　ヴァリアス」/新ユニット・リンク保険（有期型）の特別勘定について運用状況などを報告する資料です。特別勘定の主な投資対象である投資信託の勧誘を目的としたものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますので、あらかじめご了承ください。

■生命保険です
ユニット･リンク保険（終身移行型）「ユニット・リンク　ヴァリアス」/新ユニット・リンク保険（有期型）は生命保険商品であり投資信託ではありません。また、ご契約者様が直接投資信託を保有しているわけではありません。

■特別勘定グループが設定されています
ユニット･リンク保険（終身移行型）「ユニット・リンク　ヴァリアス」/新ユニット・リンク保険（有期型）は、ユニット･リンク保険（終身移行型）/新ユニット・リンク保険（有期型）に特別勘定グループ（CS）が設定された商品です。

■運用実績に応じて変動します
ユニット･リンク保険（終身移行型）「ユニット・リンク　ヴァリアス」/新ユニット・リンク保険（有期型）は、保険金額や積立金額等が特別勘定資産の運用実績に基づいて変動（増減）する生命保険で、保険期間中保険金額が一定の生命保険である定額保険とは異なります。

■元本割れリスク、最低保証について
ユニット･リンク保険（終身移行型）「ユニット・リンク　ヴァリアス」/新ユニット・リンク保険（有期型）は、特別勘定の運用実績に応じて、積立金、死亡・高度障害保険金、解約払戻金が変動（増減）する保険です。
積立金、解約払戻金、満期保険金には最低保証はありませんので、払い込まれた保険料総額を下回ることもあります。
ただし、死亡・高度障害保険金は基本保険金額と同額が保証されます。
※「ユニット･リンク保険（終身移行型）」の第１保険期間と「新ユニット・リンク保険（有期型）」の死亡・高度障害保険金は基本保険金と同額が最低保証されます。なお、「ユニット・リンク保険（終身移行型）」の第２保険期間は、定額の終身保険となりますので特別勘定による運用は行われません。

■特別勘定資産と投資信託の運用実績について
特別勘定資産の運用実績は、特別勘定が主な投資対象とする投資信託の運用実績とは異なり、一致するものではありません。
これは、特別勘定は投資信託のほかに保険契約の異動等に備えて一定の現預金等を保有していることや、積立金の計算にあたり、投資信託の値動きには反映されていない保険にかかる費用を控除していることなどによるものです。

■自己責任原則
特別勘定による資産運用は、経済情勢や運用のいかんによっては高い収益を期待できますが、一方で、株価の下落や金利や為替の変動による運用リスクをご契約者様ご自身が負うことになります。

■ユニットプライスとは
ユニットプライスとは、特別勘定の運用実績を把握するための便宜上の参考値で、各特別勘定の運用開始時の値を「100」として指数化したものです。

■ご検討・ご契約に際して
ユニット･リンク保険（終身移行型）「ユニット・リンク　ヴァリアス」/新ユニット・リンク保険（有期型）のご検討にあたっては、必ず、「契約締結前交付書面（契約概要／注意喚起情報）」をご契約前に十分にお読みいただき、投資リスクや負担いただく諸費用等の内容についてご確認・ご了解下さい。また、ご契約に際しては、「ご契約のしおり･約款」および「特別勘定のしおり」をご覧いただき、商品内容等を必ずご確認のうえ、変額保険販売資格を持つ募集人にご相談ください。

■将来の投資成果を保証するものではありません
当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。

■特別勘定は、追加されることがあります
特別勘定は、追加されることがあります。また、特別勘定の運用方針および運用対象は将来変更されることがあります。

（注）ユニット･リンク保険（終身移行型）および新ユニット・リンク保険（有期型）は現在販売しておりません。

# 当保険商品のリスク・諸費用

## 投資リスクについて

【ユニット・リンク保険（終身移行型）】

● この保険の積立期間（運用期間）中の運用は特別勘定で行われます。特別勘定資産の運用実績に基づいて保険金額および解約払戻金額が変動（増減）します。特別勘定資産の運用は、株式および公社債等の価格変動と為替変動等に伴なう投資リスクがあり、運用実績によっては第2保険期間の保険金額が第1保険期間の基本保険金額を下回ること等があります。これらのリスクはすべてご契約者に帰属します。

【新ユニット・リンク保険（有期型）】

● この保険の運用は特別勘定で行われます。特別勘定資産の運用実績に基づいて保険金額および解約払戻金額が変動（増減）します。特別勘定資産の運用は、株式および公社債等の価格変動と為替変動等に伴なう投資リスクがあり、運用実績によっては満期保険金が基本保険金額を下回ること等があります。これらのリスクはすべてご契約者に帰属します。

## 元本欠損が生じる場合があります

● 解約の時期、被保険者の契約年齢等の諸条件により、ご契約者等が受け取る金額の合計額が、お払込保険料の合計額を下回る場合もあります。

● 保険会社の業務または財産の状況の変化により、ご契約時にお約束した保険金額、給付金額、解約払戻金額等が削減されることがあります。

## 諸費用について

【ユニット・リンク保険（終身移行型）】

● ユニット・リンク保険（終身移行型）にかかる費用には、ご契約の締結・維持、死亡保障等にかかる費用および特別勘定の運用にかかる費用があります。第1保険期間中は、払込保険料からこれらの費用を差し引き、残りを運用対象額として特別勘定に繰り入れます。したがって、払込保険料の全額が特別勘定で運用されるものではありません。なお、これらの費用は、性別・契約年齢・保険料払込期間・保険料払込方法等によって異なり、金額や割合を表示することができませんのでご了承ください。また、これらの費用は、ご契約後、特別勘定からも定期的に控除されます。

● 特別勘定資産の移転は、1年に12回までは無料ですが、13回目以降は1回につき1,000円の移転費用がかかります。

【新ユニット・リンク保険（有期型）】

● 新ユニット・リンク保険（有期型）にかかる費用には、ご契約の締結・維持、死亡保障等にかかる費用および特別勘定の運用にかかる費用があります。払込保険料からこれらの費用を差し引き、残りを運用対象額として特別勘定に繰り入れます。したがって、払込保険料の全額が特別勘定で運用されるものではありません。なお、これらの費用は、性別・契約年齢・保険料払込期間・保険料払込方法等によって異なり、金額や割合を表示することができませんのでご了承ください。また、これらの費用は、ご契約後、特別勘定資産からも定期的に控除されます。

● 特別勘定資産の移転は、1年に12回までは無料ですが、13回目以降は1回につき1,000円の移転費用がかかります。

（注）ユニット・リンク保険（終身移行型）および新ユニット・リンク保険（有期型）は現在販売しておりません。